学力向上通信　Vol. 12
「三重の学-Viva!!（まなびば）」

10 月号

三重の 学（まな） Viva!!

10
2015

発行者：三重県教育委員会
「学力向上緊急対策チーム」
連絡先：研修推進課
TEL：059-226-3572

※学-Viva：「Viva」は，「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

◆連載◆　全国学力・学習状況調査の結果から見えてきたもの

Vol. 6　全国と三重県の平均正答率を比較して

全国と三重県の平均正答率を比較して、課題があると考えられる設問を取り上げました。

●● 小　学　校 ●●

国　語

国語 A　5　新聞のコラムを読む

二「コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く」

全国との差 −4.8%

「言葉を引用」の意味が理解できていなかったり、引用する必要性や効果を考えた上で、引用している言葉を判断することができていなかったりしています。

ワークシート　４年　書くこと「取材をもとに記事を書こう」、５年　読むこと「筆者の主張を正確にとらえて読もう」

国語 B　1　目的や意図に応じて新聞を書く

二「見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する」

全国との差 −2.7%

見出しを付けるに当たっては、読み手にどのような内容に興味・関心をもってほしいのか、何を伝えたいのかなど、編集の目的や意図を明確にすることが大切です。

ワークシート　４年　書くこと　「取材をもとに記事を書こう」

算　数

算数 A　3　時刻と時間

「午後 3 時 10 分までに図書館に着くために、所要時間の 5 分と 20 分を基に、家を出発する時刻を求める」

全国との差 −2.2%

片方の条件だけを考慮した解答が全国の比率よりも多くあり、書かれていることを正確に読み取る力が不足しています。

ワークシート　３年　量と計算（時刻や時間の計算）「どれだけかかるか考えよう」

算数 B　3　図形の性質に基づいた日常事象の解釈と説明

（２）「合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、㋐の角が 30°になるわけを書く」

全国との差 −3.4%

普段の授業において、答えのみを重視するのではなく、根拠となる事柄をふまえたプロセスの説明を大切にした指導を行う必要があります。

ワークシート　３年　図形　「どんな三角形かな」

ワークシート　県教育委員会では、平成２７年度全国学力・学習状況調査結果から明らかになった課題に対応したワークシートをホームページに掲載しています。一人ひとりのつまずきに着目した学習指導の改善・充実にご活用ください。

理　科

理科 3　粒子に関する問題

（４）「示された器具（メスシリンダー）の名称を書く」

全国との差 －10.7%

一定量の水をはかり取る器具を理解していなかったり、正しい名称の定着が図られていなかったりする児童がいると考えられます。

中　学　校

国　語

国語 A 9　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

全国との差 －7.8%

三工「適切な語句を選択する（彼女は、学級の縁の下の力持ちと言える存在だ）」

「床の下」「面の下」の誤答の比率が全国よりも多くありました。慣用句を正確に覚えるよう、日頃から慣用句を使う場面の設定や、宿題等での指導が必要です。

ワークシート　１年　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項「故事成語の故事から日常生活を振り返って書こう」

国語 B 1　資料を作成して発表する

全国との差 －3.4%

一「【ノート】の『その他の情報』を役立てられる場合として適切なものを選択する」

学校質問紙の「言語活動に重点を置いた指導計画の作成」を行っているという比率が全国より低い傾向にあります。学校全体で言語活動に取り組む必要があります。

ワークシート　３年　話すこと　「資料を活用して話そう」

数　学

数学 A 14　中央値の求め方・度数分布表

全国との差 －3.6%

（１）「反復横とびの記録の中央値を求める」

与えられた資料から中央値を求めることに課題があります。また、「中央値」という用語の意味の理解が不足しています。

ワークシート　１年　資料の活用　「資料の散らばりと代表値」

数学 B 2　構想を立てて説明し、発展的に考えること

全国との差 －2.1%

（３）「連続する５つの整数の和について成り立つ事柄を表現する」

発展的に考えることや、予想した事柄を的確に表現したり説明したりすることに課題があります。

ワークシート　２年　数と計算　「文字を用いた式の四則計算」

理　科

理科 8　魚のえらぶたの開閉回数と水温の関係を科学的に探究する

全国との差 －7.0%

（１）「背骨のある動物の名前を答える」

背骨のある動物の名称を答えることに課題があります。セキツイ動物や無セキツイ動物の名称について知識を身に付けていないと考えられます。

ワークシート　２年　生命　「動物の仲間」

平成２７年度全国学力・学習状況調査結果では、１０教科中９教科で全国平均正答率との差が前回よりも縮まり、小中学校ともに「改善の兆し」が見られながらも、依然として全ての教科において全国平均正答率を下回っているという状況があります。

今回紹介した課題や特徴的な傾向を、児童生徒の実態に照らし合わせ、ぜひ日々の授業改善に活かしてください。

平成 27 年度全国学力・学習状況調査 報告書 の活用を！

「報告書」には「１．調査の概要」「２．教科に関する調査の結果（概要）」、「３．教科に関する調査の各問題の分析結果と課題」が書かれています。

特に「３」では、調査問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容（区分・内容、分野・内容）、解答類型と反応率、分析結果と課題、学習指導に当たって等が詳しく書かれています。

一人ひとりの児童生徒のより一層の学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて、ぜひ、「報告書」を活用し、これからの授業改善に活かしてください。

報告書 DE 指導改善！！

【小学校国語 報告書 ６６ページ～６８ページ】（抜粋）

国語 B 3 相手や目的に応じて読み聞かせをする（とんち話「びょうぶのとらのお話」）

● **出題の趣旨** ▶ 調査問題ごとの出題趣旨を示しています。

場面の移り変わりに注意し、登場人物の行動や気持ちの変化について想像しながら音読することができるかどうかをみる。

● **解答類型と反応率** ▶ 解答類型ごとの反応率、正答の条件、正答例を示しています。

問題番号		解答類型		反応率(%)	正答
3	—	1	1 と解答しているもの	7.7	
		2	2 と解答しているもの	9.1	
		3	3 と解答しているもの	60.6	◎
		4	4 と解答しているもの	10.6	
		5	5 と解答しているもの	2.1	
		9	上記以外の解答	0.3	
		0	無解答	9.6	

● **分析結果と課題** ▶ 正答率、課題の有無、誤答の分析、これまでの調査問題で見られた課題との関連等を記述しています。

■ 正答率は 60.6%である。登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えることに課題があり、指導の充実が求められる。

■ 解答類型４の反応率は 10.6%である。これは、一休さんの行動として、「はちまきをしめ、たすきをかけて身じたくを整え、いよいよなわを手に持ち、びょうぶの前に進み出ました。」という叙述や、【話し合いの様子①】の高木さんの発言に着目することができなかったためと考えられる。

● **学習指導に当たって** ▶ 調査結果を受け、学習指導の改善・充実を図る際のポイントを記述しています。

登場人物の行動や会話、情景を基にして場面の移り変わりを捉える

■ 文学的な文章における「場面」は、時間、場所、登場人物の性格や気持ちの変化などによって変わることを指導する必要がある。

場面の移り変わりは、登場人物の行動や会話、情景などを基に捉えることが大切である。そのためには、各場面の様子を、登場人物の行動や会話、情景などの叙述を根拠にしながら、的確に捉えるとともに、場面と場面とを関係付けて読む指導が必要である。

具体的には、物語の展開に即して、「いつ」、「どこで」、「だれが」、「何をして」、「どう思ったか」などを中心に物語のあらすじをまとめることで、場面の移り変わりを捉えることができるように指導することが考えられる。

学力向上に向けた

具体的な実践事例

【事例９】東員町立東員第二中学校

誰もが安心して、何事にも意欲的に取り組める集団を目指して！

「生徒を『**つなぐ**』」、「『**書く力**』の育成」を研修テーマとして、道徳の全体研修会や全教員による授業公開を実施しています。また、教科部会を中心に授業検討会を行っています。

つなぐ

■ **学級・学年集団づくり**

- 正義がとおる集団の育成
- 安心して自分を出し、伸ばせる環境づくり
- 学校行事をとおして、仲間と取り組んだことでの達成感を味わわせ、その積み上げを大切にする

前向きな発言、態度を評価

■ **学習集団づくり**

- 「視る、聴く、話す、読む、書く」を基礎とし、生徒同士を「**つなぐ**」という視点を大切に！
- 自分を出し、仲間を受け入れる授業づくり
- グループ学習の質的な向上 ➡ **単なる話し合いではなく、高まり合う学習へ**
- 「授業規律」の徹底 ➡ 学校生活全ての場で「チャイムスタート」、「聞く姿勢や挙手」など指導の徹底

■ **生徒会による授業づくり**

- 生徒が他学年の授業を参観
- 室長会で自分たちのクラスの授業を分析
  - ➡ 自分たち自身の授業を見直す

【3 年生のモデル授業を 1，2 年生が参観】

▶ **Ｈ２７全国学力・学習状況調査「生徒質問紙」の結果**

「自分には、よいところがあると思いますか」
「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」

「当てはまる」と答えた生徒が全国平均を上回る！

- ➡ 自己肯定感や自己有能感がはぐくまれている
- ➡ 良好な仲間関係があり、生徒同士が互いに「つながる」ことができている

書く力

■ **単に文章を書くだけではなく、以下の点を意識して各教科で指導**

- 主語・述語の関係など正しい文法を用いる
- 自分の考えを簡潔にまとめて表現する
- 学習した用語を適切に使い記述する
- 与えられた条件を満たして記述する

「書かせる」だけではなく、必ず「評価」

■ **「毎日のあゆみ（今日の振り返り）」の記述**

- 枠一杯に書くことを継続 ➡ 長文を書くことへの抵抗感を払拭

地域の一員として

■ **「笹尾まつり」「城山まつり」への参加**

- 地域の一員としての意識、二中を地域にアピール （吹奏楽部の演奏、有志による祭りソーラン披露）
  - ➡ 地域の皆さんの声 「二中生徒の参加なしには祭りは成立しない！！」

▶ **Ｈ２７全国学力・学習状況調査「生徒質問紙」の結果**

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

- ➡ 地域の一員として、地域の行事を大切にしている

「当てはまる」と答えた生徒が全国平均を上回る！

東員町立東員第二中学校長のコメント

みえスタディ・チェックや全国学力・学習状況調査の結果分析と改善方策の検討、授業力の向上を目指した校内研修など、学力の向上のための様々な取組を行っています。学力の向上を目指すとともに、学校生活の土台となる集団を質的に向上させ、互いに高め合い、そして意欲的になれる集団にすることが重要だと考えています。これからも、自己肯定感、自己有能感を実感できる集団づくりを目指していきます。